

貴店番線印

『神様のいる街』 吉田篤弘 著

4月25日
取次搬入予定

本と旅と青春。この上なく率直に書かれた自伝的エッセイ。

冊

ご担当者さま

吉田篤弘さんと弊社の出会いは、忘れもしません、「本の雑誌」2012年1月号。その前年の「私のベスト3」に、弊社の『上林暁傑作小説集 星を撒いた街』を挙げてくださっていたのです。それから本をとおしての密やかなおつきあいが始まり、今月、弊社から初めて、吉田さんの書き下ろし作品がでます。

弊社から作家への依頼は、「デビュー作のような瑞々しいものを書いてほしい」というもの。本作はまさに、吉田さんの再びのデビュー作に相応しい作品です。20歳の主人公が、自分の大好きな「神様のいる街」に何度も足を運び、本をとおして自己をつくる。その「神様のいる街」とは、神保町と神戸。実際にあった沢山のお店と本が出てきます（澁澤龍彦や上林暁。海文堂書店も）。そして、物語の最後に主人公は結婚します。清々しい読後感に満ち、ポエジーに溢れていて、最後には胸がギュッとなる。吉田さんファンにも、入門にも最適な一冊。造本も潇洒です。

価格:1600+税/128頁(うち2色刷り32ページ)

四六判/ハードカバー ISBN 978-4-904816-27-1 C0095

取次: JRC (すべての取次からの搬入が可能です)

ご注文は JRCへ FAX: 03-3294-2177 電話: 03-5283-2230

吉田篤弘
神様のいる街

いつも
晴れて
いた。

神様のいる街

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-27-1 C0095 本体一六〇〇円+税

吉田篤弘 著